



# わかたけ

春日部市立武里小学校  
児童数418名(11/1)  
平成29年11月1日発行

## 都道府県の魅力度(郷土愛)ランキング

校長 高橋信行

「校長先生、本当にやってよかったですね。見てください、こんなに……。」先月、秋の長雨の最中、ある日のお昼近くに、ふと図書室を訪れると、図書ボランティアの保護者からこんな声をかけられました。ボランティアの方が示す先には、大量の図書貸し出しカードがありました。夏休み中の大作業でしたが、子どもの動線が最も少ない場所から、とても多くの動線が重なる場所へと図書室を移動したことで、子どもたちの図書室利用が大幅に増加したのです。棚によっては、蔵書の数より子どもたちの代本板の数の方がずっと多い状態であり、業間の貸し出し対応で大忙しだったであろうボランティアの方たちの顔にも、充実感が感じられました。今後も子どもたちには大いに「読書の秋」を満喫してほしいと思います。

さて、話は変わりますが、先日、ブランド総合研究所から今年の「都道府県の魅力度ランキング」が発表されました。この調査は、全国の消費者を対象に全都道府県の「認知度・魅力度・イメージ」など数十項目の調査を実施し、各地域に抱く魅力度を数値化したものです。それによると、北海道・京都府・東京都・沖縄県・神奈川県などが毎年上位にランキングされ、逆に茨城県・群馬県・埼玉県・栃木県・徳島県などが毎年下位にランキングされています。埼玉県は今年は44位。ここ数年間ずっと、ほぼ同じ順位で低迷しています。埼玉県民にすれば、自然災害の被害は比較的小さく、通勤・通学の諸条件も良好、買い物やお店にも不自由はないし、数々の観光名所や副都心などの都会的な街並みも数多い。プロサッカーJリーグのチームが2つもあり、プロ野球球団もあり、若さと活力に満ちあふれた県なのに……なぜ?との思いもあることでしょう。しかし、他県の人たちからみれば、埼玉県には他と比べて「ぜひ行ってみたい。見てみたい。」と思わせるものが少なく、何もかも中途半端な首都圏のベッドタウンでしかないという認識が強いようです。

少し前に、同研究所が「都道府県の郷土愛ランキング」も発表しました。ここでは、各都道府県出身者、全国数万人を対象に「故郷への愛着度や故郷の誇り」などを問い、ランキングが決定されています。「美しい自然」「優しさやおもてなしの心」「食文化の豊かさ」「交通の便」「伝統・文化・祭」「誇れる施設・設備」など、様々な観点からの調査です。そこでも埼玉県は「郷土への愛着度」「郷土の自慢度」とも低い数値であり、総合では全国最下位です。半数以上が都内に通勤・通学している「埼玉都民」であることや、宿泊観光地が少なく、外国人宿泊客数も全国ワーストであるなど、単なる「スルー県」になっている現状などが要因なのではないでしょうか。こうした結果に一喜一憂する必要はありませんが、かなり率直でシビアな国民・県民意識の表れでもあり、決して無視することはできないように思います。

目を学校に向けてみると、どの学校でも子どもたちの豊かな成長のために、粛々と日々の教育活動を実践していることは間違いありません。また同時に、与えられた様々な教育環境を最大限に生かし、特色ある教育活動につとめています。しかし、最新式の施設・設備が整備された環境が美しい学校や、児童数の多さを武器にした、対外的な課外活動やイベント等での活躍の場が多い学校、地域や学校で引き継がれてきた伝統・文化を守り続けている学校などは、都道府県で例えれば、ディズニーランドや世界遺産の姫路城、京都の祇園祭などのような、他県が羨む財産を数々持っているということになるのでしょうか。維持・管理等していく大変さはあるでしょうが、他を圧倒する強みを、すでに持っているのです。

武里小学校には、地域と学校がともに昔から脈々と引き継いできた伝統・文化が存在し、長年に渡り、地域から愛され続けてきた学校であるという誇りもあります。また、最近では金管バンドや合唱団が、大きな大会や地域の行事・イベント等に数多く参加し、その質の高さで聴く方たちに多くの感動を届けています。さらに、子どもたちの豊かな成長のために学校教育の一層の充実を図るとともに、豊かな体験活動を数多くとの思いで、学校外部の教育力もふんだんに活用するなど、魅力あふれる教育実践を実現するようつとめております。しかし、そんな教育活動の善し悪しを評価し、学校の本当の“魅力度”を判定するのは、子どもらや保護者を含めた地域の皆さんです。

自校教育の見直しと改善を繰り返しながら、「確かな学力」や「豊かな人間性」など、子どもたちが今の時期にしっかり身につけなければならない『不易の教育』を徹底し、皆さんからの評価が得られる、そして“魅力度”でも他校に決して引けをとらない、より一層充実した教育活動の実践に、今後も『本気』『全力』で邁進していかねばならないとの思いを強くしました。

## 中央大会(金管・バトンクラブ参加)



10月6日(金)に中央大会が行われ、金管・バトンクラブが参加しました。晴れの舞台に臆することなく堂々とした態度で楽しそうに演じている姿を見て、頼もしく思えました。長期間の練習に御協力いただいた保護者の皆様に感謝いたします。

## 大盛況!新図書室



10月3日(火)に、待望の新図書室がオープンしました。3年生から6年生が学習する教室にとっても近くなったことから、図書室は連日大盛況です。旧図書室とは比べ物にならないほどの稼働率となり、児童が本に親しむ時間も格段と増加しています。子どもたちは「読書の秋」をとっても楽しんでいるようです。

## 学校の外で、体験を通じて学びます



10月から12月までの間、全学年が学校の外で学習する機会を設けています。行先は、1、2年生が東武動物公園、3年生がキッコーマン等、4年生が浄水場等、5年生がスキップシティ等、そして6年生が修学旅行(箱根・鎌倉)です。各学年とも、教室の授業では味わえない貴重な体験の機会になることと思います。(写真は4年生の社会科見学です。)

## 武小読書まつり ~実れ!読書の木~



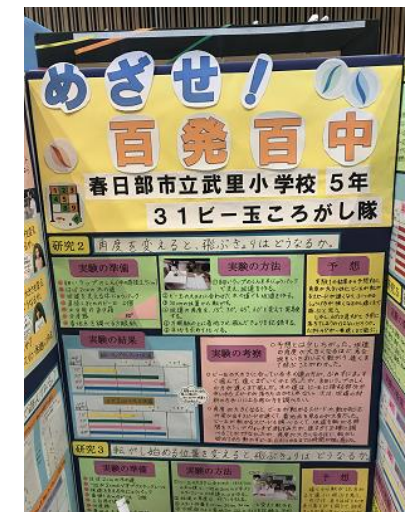
10月17日(火)より11月17日(金)までの期間で、「武小読書まつり」を行っています。読書により親んでもらおうと、クラスの読書量に応じて実が増える「読書の木」を各クラスに掲示しています。

## 武里地区体育祭



10月9日(土)、本校を会場に毎年恒例の武里地区体育祭が開催されました。前日は生憎の雨でしたが、当日は雨もあがり、体育祭は盛大に行われました。金管・バトンクラブの子どもたちも参加し、開会式の先導や演技の発表にと大活躍をしました。地域と共に歩む学校としての一幕です。

## 市内科学展で推薦賞をいただきました



9月30日(土)、10月1日(日)に開催された市内科学展で、5年生の研究が推薦賞に輝きました。ビー玉を転がした時の飛距離についての研究です。本作品は上位展の埼玉科学展でも銀賞を受賞しました。